

美濃加茂市企業版ふるさと納税

里山再生事業

～里山資源を活用したひとづくり～



課題

生活様式の変化等で里山林は放置され、森林整備の担い手不足により荒廃が進んだ結果、有害鳥獣による農被害など、森林の公益的機能が発揮しにくくなっている。また、昔と比べ子ども達が自然とふれあう機会が減少し、自然に対する愛着や知識が低下。情操教育に対する学びの場が失われつつある。

<私たちが考える里山の公益的機能>

- 人々の生活に欠かせない水源としての機能や土壌維持によって、土砂災害等から里を守る機能
- 遊びや文化的活動の場としての機能
- 生物多様性保全機能
- 暮らしを支える資源としての機能

<課題解決に向けて>

里山の魅力を再生するための取組は、里山に関わるひとづくりから

里山再生とひとづくりの循環

事業内容

・森のようちえん

参加者を募ったイベント型として実施し、遊具など作られたものがない里山内で、子ども達が里山を自由に使い自由な発想で遊ぶことで、新たな気づきを感じることができる。

・里山保育

市立保育園・こども園における、日常保育として実施し、自然にふれて遊ぶことを繰り返すことで、子どもの好奇心を沸き立て想像する力を育みながら、人の基礎を築くことができる保育を推進する。

・アベマキを活用した学校机プロジェクト

小学校と連携し、市内森林に自生するアベマキを小学校の学習机の天板に活用。

メリット

①企業活動の最前線フィールドとして連携

- ・里山資源を活用した商品(体験)開発
- ・企業協働の森に関する協定など…研修や社会実験の場として活用。

②企業の新たな付加価値を創出

- ・SDGsからESGにつなげ、ブランド力や信頼性の向上により、人材確保、コミュニティ創造、イノベーション創出のきっかけとなる。

